



今月は「パレスチナ」を覚えてお祈りください

パレスチナ国は、地中海の東部のパレスチナにある主権国家である。国際連合(UN)には未加盟であるが、2016年8月時点で136の国連加盟国が国家として承認している。領土はヨルダン川西岸地区およびガザ地区から成り、東エルサレムを首都として定めている。ただし「国土」の一部であるヨルダン川西岸地区の6割に当たる地域(2001年時点)と東エルサレムはイスラエルに占領されており、首都機能はラマッラーが担っている。

パレスチナの経済・政治・宗教について

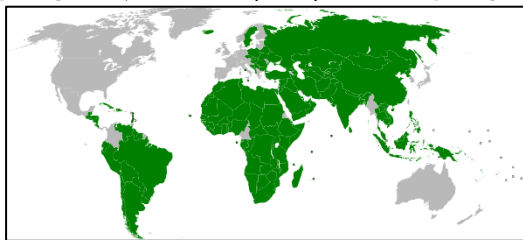
パレスチナへのアクセスがイスラエルによってコントロールされているために、工業が不安定で、外国からの投資も以前に比べて95%なくなってしまうている。これにくわえて、旅行制限や水源地へ行くことが制限されている。多くの人々は何かの家業によって生計を立てている。イスラエルにおけるパレスチナ人の就業者数にも制限が設けられてからは、生活水準が低くなり、失業率は30%にまで増加してしまった。

1948年に領土をほぼすべて失ったパレスチナは、1967年にもイスラエル軍によって弾圧を受けた。イスラエルとパレスチナの間には和平交渉が長年進められてきているものの、依然として決定的で平和的な解決には至っていない。パレスチナが支配できる町や郊外の村も増えてはいるものの、イスラエルの力と存在は大きい。パレスチナ領土のガザ地区はハマスによって支配されている。

イスラエル人による占有とイスラム教徒による迫害が、少数であるクリスチャンたちの数をさらに減少させている。

パレスチナのその他の情報

面積:6,243 km² (日本の約2%) 人口:5,222,756(日本の約4% 2020年時点)



パレスチナを国家承認している国

宗教:	
イスラム教	87.69%
ユダヤ教	8.50%
その他	2.20%
クリスチャン	1.61%

「あなたの国の中の暴虐、あなたの領土のうちの破壊と破滅は、もう聞かれない。あなたは、あなたの城壁を救いと呼び、あなたの門を賛美と呼ぼう。」 イザヤ 60:18

祈禱課題

領土問題の解決のために

土地問題の正義的な和解が必要とされている。また、パレスチナのユダヤ人入植地とイスラエルに住むパレスチナ人の居住地の問題が解決されなければならない。双方は土地に対する強い主張を感じていて、歴史的に見ても複雑で解決困難な問題だ。イスラエル人もパレスチナ人もエルサレムを自分たちの正統的な首都と主張している。

生活環境の改善のために

改善された生活環境が必要とされている。推定によると、ガザの70%が深刻な貧困の中に暮らしており、80%が外部援助に依存している。清潔な水に定期的アクセスできるのは、ガザの28%の住民のみだ。原因と欠点についての議論は多く続けられて来ているが、その間にも数え切れない人々が苦しんでいるという事実がある。

パレスチナとイスラエルの政治的なリーダーシップのために

パレスチナを統治するための正当かつ効果的なリーダーシップが必要とされている。政治団体ファタハとPLO(パレスチナ解放機構)はいずれも支持率は低い。しかし、何とか権力と影響力を保持している。イスラエルは、自国の防衛のために、時には重圧的な扱いをパレスチナにしている。これは過激で暴力的なイスラムグループが新たな戦闘員を募集するきっかけをつくっている。すべてのパレスチナ人の家族がイエス・キリストの福音を聞いて救われなければならない。また、エルサレムの平和のためだけでなく、双方が国家として平和の王子であるキリストに会うことを祈らなければならない。本当の和解は、ただ唯一の主を通して与えられる。